

授業科目	専門分野《小児看護学》			
授業科目	小児看護実践演習（健康障害をもつ小児の看護展開）			
開講年次・学期	2年次・後期			
単位（時間）	1（15）			
担当講師	《専任教員》看護師としての実務経験あり			
科目のねらい	<p>健康障害を持つ患児が健やかな成長発達を遂げられるための看護展開について理解する。</p> <p>小児看護の対象は新生児期から思春期まであらゆる成長発達段階にあり、健康レベルも様々である。どの成長発達段階・健康レベルであっても、児を一人の人として尊重しながら、健康障害や入院生活による苦痛を緩和し、主体的にセルフケアできるよう成長発達を促進していくことが必要である。また、児と家族との相互作用が促進できるよう家族の支援も行う必要がある。</p> <p>本科目は、小児看護概論、小児臨床看護Ⅰ・Ⅱの学びを統合させながら、ネフローゼ症候群に罹患した患児およびその家族の事例をもとに看護を展開していく。一人の患児の事例に沿って、幼児期・学童期という発達段階および急性期・回復期・慢性期という健康レベルにある患児とその家族への看護を理解していく。</p> <p>また、実践を行うために必要な学習を主体的に行い、グループメンバーと学びあい、看護実践者として必要な学習スキルの修得も目指していく科目である。</p>			
到達目標	<p>紙上事例をもとに健康障害を持つ小児を理解し、健やかな成長発達のための看護展開について理解する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康障害・入院生活が患児・家族に及ぼす影響を説明する 2) 各成長発達段階・健康段階にある患児・家族の全体像を明らかにし必要な看護を見出す 3) 各成長発達段階・健康段階にある患児・家族の看護問題を明確にし看護計画を立案する 4) 健康障害を持つ子どもの健やかな成長発達を遂げるための看護の在り方を理解できる 5) 主体的な学習を行い、看護者として必要な学習スキルを修得する 			
授業計画	回	方法・内容	事前学習	事後学習
	1	<p>講義</p> <p>1) 授業ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児看護実践演習の進め方と評価方法 <p>2) 各事例患児の健康障害や入院生活の影響を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事例の患児・家族の健康障害・入院生活の影響と看護の方向性を見出す <p>3) 実習初日の援助について理解する</p>	<p>①看護展開に必要な学習（疾患・治療・発達段階）</p> <p>【A4 レポート用紙】</p> <p>②実習初日の援助計画立案</p> <p>【日々の実践シート】</p>	<p>①看護展開に必要な学習の追加</p> <p>※コピー提出</p>
	2	<p>演習（実践演習）</p> <p>《実習室・デブリーフィング室》</p> <p>「各事例における看護実践と全体像の理解」</p> <p>1) 発達段階に合わせた関わり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達に合わせた説明と同意 ・フィジカルアセスメント ・安全・安楽を考慮した行動制限と援助技術 <p>①各事例における看護場面の実践（メンバー各々が異なる場面を実践）</p> <p>②グループで共有し、全体像をつくる</p> <p>③実践後の気づきの共有</p>	<p>①実習2日目の援助計画（発達段階に合わせた援助技術の学習を含む）</p> <p>【日々の実践シート】</p>	<p>①実習2日目の援助計画の追加修正、振り返り</p> <p>※コピー提出</p>
	3	<p>グループワーク「関連図」</p> <p>「各事例患児の関連図」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでロングカンファレンスを実施する ・グループカンファレンスの学びを追加 ・グループでの気づきを全体共有 	<p>① 関連図</p> <p>※コピーを提出</p>	<p>①関連図追加修正</p> <p>※コピー提出</p>
	4	<p>グループワーク</p> <p>「看護上の問題の明確化と看護計画」</p> <p>「看護上の問題の明確化と看護計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでロングカンファレンスを実施する ・グループでの気づきを全体共有 ・代表者数名の看護の明確化と看護計画を共有 	<p>① 看護問題の明確化と看護計画</p> <p>※コピー提出</p>	<p>①看護問題の明確化と看護計画追加修正</p> <p>※コピー提出</p>

	5	<p>各グループ発表準備</p> <p>①関連図（各事例 1G）</p> <p>②看護問題の明確化と看護計画（各事例 1G）</p> <p>③プレパレーション（各事例 1G）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ ・プレパレーションの目的、留意点、根拠を発表当日にボードに記入しておく 	①～③のうち担当となった学習準備	発表に向けた準備 ①関連図 ②看護問題の明確化と看護計画 ※①・②のグループは提出 ③プレパレーションはなし				
	6・7	<p>全体共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期急性期：関連図・看護問題 ・幼児期回復期：関連図・看護問題 ・学童期慢性期：関連図・看護問題 	①配布されたグループ資料を読み、カンファレンスシートを記載する	①個人課題の関連図・看護問題の明確化と看護計画を追加・修正				
	8	<p>全体共有</p> <p>《実習室・デブリーフィング室》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレパレーション ①幼児期急性期：入院3日目のフィジカルアセスメント ②幼児期回復期：幼児期への感染予防対策指導 ③学童慢性期：退院後の自己管理指導 						
必携文献	<p>1) 奈良間美保編：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児看護総論，医学書院，2025.</p> <p>2) 奈良間美保編：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論，医学書院，2025.</p>							
参考文献								
成績評価方法	<p>1) 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各提出物 90点 ・出席状況 10点 <p>2) 最終提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①～⑦を順番にホッチキスで綴じて、ID番号・氏名を記入した透明ファイルに入れて提出 ①実習初日の援助計画 ②実習2日目の援助計画：日々の実践シート ③個人で記入・追加修正した関連図 ④個人で記入・追加修正した看護上の問題と看護計画 ⑤カンファレンスシート ⑥自己評価表 ⑦個人での学習資料 <p>3) 不合格者</p> <p>別事例での看護展開および不合格になった状況により個別の課題を提示</p> <p>3) 最終提出物で成績判定を行い、6割以上を合格とする。</p>							
備考								
出席自己 チェック欄 15h	2	4	6	8	10	12	13	15